

17 年の治療経過で皮膚状態と生活が変化した成人アトピーの経過 (48 歳男性)

症例 ID：001-40-IK6 | 記録日：2018 年 1 月 9 日

1. 診断・治療前経過

小学校前からアトピー性皮膚炎があり、中学校頃には目の周り、肘、膝、首が赤く、掻いていました。高校以降、31 歳で松本医院に出会うまで、ステロイド外用薬を欠かさず塗っていました。

31 歳頃にはステロイドを塗ってもカサカサが続く状態となり、治療開始に至りました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児期から市販薬を含むステロイド外用薬を使用し、高校以降 31 歳まで継続的に使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小児期から 31 歳頃まで長期使用歴があります。
中止時期	2001 年に松本医院で治療を始め、ステロイド外用薬を中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小児期～高校期	来院前	目の周り、肘、膝、首に症状があり、ステロイド外用薬を使用していました。
31 歳頃（2001 年）	治療開始	松本医院で治療を開始し、ステロイド外用薬を中止しました。
治療開始後半年	リバウンド期	全身がぼろぼろの状態となり、半年間会社を休職しました。
治療開始後数年	経過中	会社を休むほどではないものの、つらいリバウンドを 4 回ほど経験しました。
5～6 年後	経過後	時間をかけて治っていきました。
2018 年	経過後	皮膚はほとんど健常者と同じ状態となり、指先が少し荒れる程度になりました。痒みなく眠れ、毎年子どもと海に行ける生活になりました。

4. ピーク時期

ピークは、2001 年にステロイドを中止した後、全身が強く悪化して半年間休職した時期です。

5. 困りごと

- 治療開始後は全身の強い皮膚症状で半年間休職しました。
- 長期にわたり治療費、通院、家族の協力が必要でした。
- その後も数回つらいリバウンドがありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の写真・グラフ記録。



経過中の写真・グラフ記録。



経過中の写真・グラフ記録。



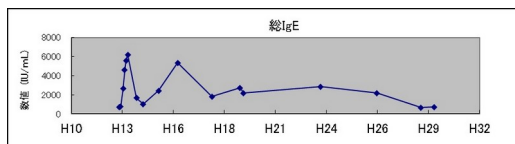
経過中の写真・グラフ記録。



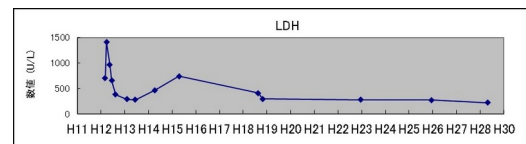
経過中の写真・グラフ記録。



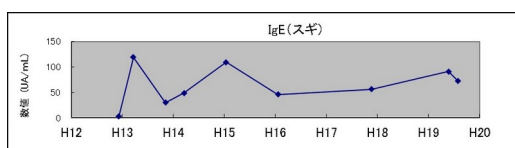
経過中の写真・グラフ記録。



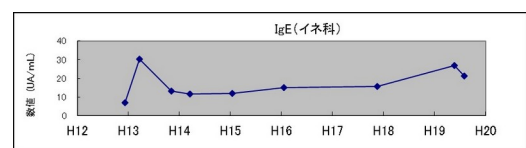
経過中の写真・グラフ記録。



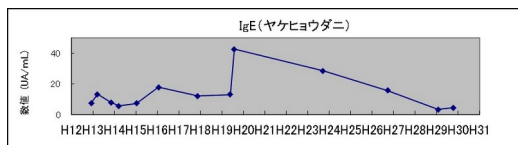
経過中の写真・グラフ記録。



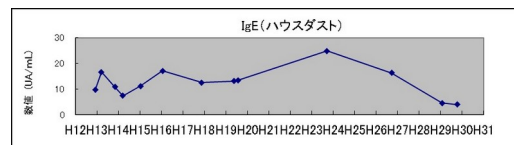
経過中の写真・グラフ記録。



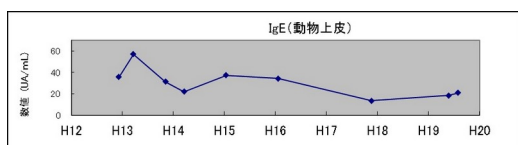
経過中の写真・グラフ記録。



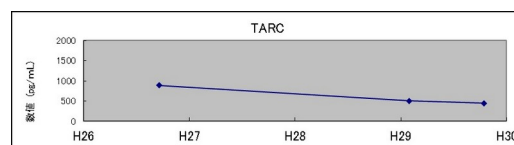
経過中の写真・グラフ記録。



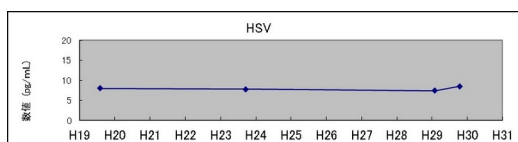
経過中の写真・グラフ記録。



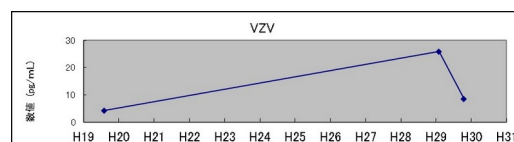
経過中の写真・グラフ記録。



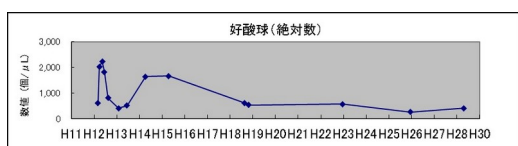
経過中の写真・グラフ記録。



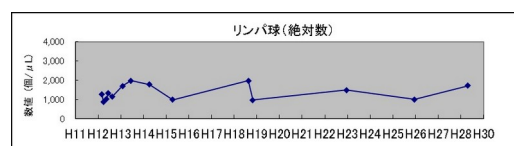
経過中の写真・グラフ記録。



経過中の写真・グラフ記録。



経過中の写真・グラフ記録。



経過中の写真・グラフ記録。

7. 経過のまとめ

小児期から31歳頃までステロイド外用薬を長く使用し、2001年に治療を開始しました。ステロイド中止後は全身が強く悪化し、半年間休職する時期がありました。

17年後の2018年時点では、皮膚はほとんど健常者と同じ状態となり、指先が少し荒れる程度です。痒みなく眠り、毎年子どもと海に行ける生活になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。